

# 中部大学2012オープンカレッジ 春学期◎聴講生募集

## 学生と一緒に! 学問追求! これまでに5,900名以上の方が受講しています。

聴講できる科目は下記の通りです。ご自由に選択していただけます。\*ただし開講される科目・担当者・曜日・時間は今後変更される場合があります。

●講義期間／平成24年4月4日(水)～平成24年7月30日(月) ●講義回数／週1回(約4ヵ月間)15～16回

※祝日に講義がおこなわれる場合がございますので、お申込の際にはくれぐれもご注意ください。詳しくは資料請求より、「オープンカレッジガイドブック」の「授業日予定表」をご覧ください。

分野	コード	科目名	曜日・時間	担当者
工学	1	パワーエレクトロニクスA	火3・4	松井 景樹
	2	デジタル電子回路	金3・4	桐山 清
	3	社会システム計画	火1・2	服部 敦
	4	建築と社会A	水3・4	猪岡達夫 田中英紀 早川紀珠
	5	基礎物理学	月3・4	吉福 康郎
	6		木7・8	
	7	金5・6		
	8	微分積分学I ※1	木3・4と金3・4	竹中 俊美
	9	線形代数 ※1	月7・8と土3・4	手嶋 忠之
	10	応用数学	火5・6	奥村 吉孝
	11		木5・6	
	12	基礎電磁気学	火3・4	宮島 佐介
	13	環境工学	水3・4	行本 正雄
	14	図学	月5・6	長坂 今夫
	15		水3・4	
	16	コンピュータ支援工学A	月3・4	石鍋 雅夫
	17	地球環境論	火7・8	工藤 健
	18	化学と物質	木3・4	今枝 健一
	19	力学	月3・4	袴田 和幸
	20		木1・2	
	21	画像情報処理	土1・2	藤吉 弘亘
生命医療看護	22	老年福祉看護論 ※3	月1・2	福田峰子 宇佐美千鶴 安藤好枝
	23	精神障害リハビリテーション ※2	月3・4	原 健男 向 文緒
	24	生命科学入門 ※3	月5・6	田口 薫
	25	疾病病態学概論	水5・6	下方 薫
	26	環境問題入門	木3・4	山木 昭平
27	火3・4			
28	火7・8			
29	食糧問題入門	火1・2	高村 基治	
30	機器分析化学	金1・2	山本 敦	
バイオ環境食品	31	食料資源論	火3・4	和田 俊夫
	32	入門簿記	木3・4	阿部 仁
	33		水5・6	
	34	上級簿記論	火3・4	阿部 仁
	35		火1・2	
	36	工業簿記論	月5・6	竹森 一正
	37	木3・4	山北 晴雄	
	38	国際会計論	水1・2	阿部 仁
	39	国際金融論	火1・2	土屋大二郎
	40	管理会計論	月7・8	竹森 一正
	41		水3・4	
	42	月5・6		
	43	情報リテラシーA(情報処理入門)	月7・8	前田 和昭
	44		木1・2	
	45	シミュレーション	火5・6	足達 義則
	46	プログラミング言語B(表計算) ※1	月1～4	龍岡 亮二
	47	上級プログラミング ※1	金5～8	前田 和昭
	48	経済政策	月1・2	石田 昌夫
	49		月3・4	
	50	現代契約法	木1・2	牧野 英克
	51		木5・6	
	52	マルチメディア	火3・4	龍岡 亮二
	53	企業と社会	火1・2	伊藤 佳世
	54		金3・4	
	55	オーガニゼーション	木7・8	辻村 宏和
	56	金融論	火3・4	土屋大二郎
	57	情報スキル入門	木5・6	高橋 道郎
	58	中小企業の経営革新	月7・8	森岡 孝文
	59	中部経済と産業	月1・2	大島 俊一
	60		月3・4	

分野	コード	科目名	曜日・時間	担当者
経済情報	61	現代の経済	木3・4	土屋大二郎
	62	特別講義A	火5・6	竹森 一正
63	水3・4		山下 裕文	
日本語・日本文化	64	古典文学講読A	月5・6	岡本 聡
	65		月5・6	
	66	日本語講義A	金3・4	堀江 裕子
	67	日本語教授法A	水1・2	小森早江子
	68		木3・4	
	69	日本の文化A	金1・2	大山 誠一
	70	日本語の歴史	金3・4	蜂矢 真郷
	71	近現代文学講義A	金5・6	杉本 和弘
	72	民間伝承論A	火7・8	永田 典子
	73	英語の発音A	火7・8	ヤーツコラ伊勢井敏子
	74	英米の歴史A	水1・2	本内 直樹
	75	異文化コミュニケーション論A	月7・8	塩澤 正
	76	英語のしくみA	水3・4	横田 裕加
	77	英米の文学A	月7・8	島津 信子
78	日・欧・米比較文化論A	木1・2	本内 直樹	
英語・英米文化	79	スペシャリティックスA	木3・4	C. N. サンディ
	80	英米文化特講A	水3・4	島津 信子
	81	比較文化論	金7・8	宮下 十有
	82	現代文化史	水3・4	前田富士男
	83	社会学	月3・4	都築 耕生
	84	心理学	火3・4	安藤 有美
	85	コミュニケーション論	金9・10	松本健太郎
	86	メディアと歴史	水5・6	和田伸一郎
	87	現代芸術	木7・8	山本さつき
	88	メディア産業論A	火3・4	溝渕久美子
	89	ジャーナリズム論	月5・6	栗木千恵子
	90	活字ジャーナリズム史	火5・6	水野 雅夫
	91	放送ジャーナリズム史	水5・6	齋藤 宏保
	92	対人コミュニケーション	土1・2	平本 毅
93	社会とことば	木3・4	柳谷 啓子	
コミュニケーション・メディア	94	映画史A	月9・10	小林 貞弘
	95	映像分析B	金3・4	小川 順子
	96	表現と倫理A	月3・4	藤枝 律子
	97	情報流通研究	金7・8	柴崎 彬
	98	新聞研究A	火3・4	水野 雅夫
	99	テレビ放送研究A	水1・2	齋藤 宏保
	100	地域とコミュニケーション	火1・2	安藤 純子
	101	家族とコミュニケーション	木3・4	平田 亜紀
	102	広告とコミュニケーション	金5・6	伊藤 俊一
	103	映画研究A	水5・6	小川 順子
	104	臨床心理学A	月3・4	願興寺礼子
	105	健康心理学B	木3・4	小川 浩
	106	アジアの歴史A	水3・4	鈴木 隆
	107	女性の歴史	水3・4	柳澤 幾美
108	交通の歴史	火1・2	末田 智樹	
109	歴史学の方法	火5・6	小島 亮	
歴史地理	110	世界の中の日本A(地理)	木1・2	林 上
	111	日本とアジアA(地理)	金7・8	山元 貴継
	112	日本の中世	火1・2	水野 智之
	113	日本の近世	木9・10	篠宮 雄二
	114	日本の近代	木5・6	森田 朋子
	115	日本の現代	水3・4	三浦 陽一
	116	日本思想史	金5・6	丸谷 晃一
	117	ヨーロッパの歴史A	木3・4	見崎 恵子
	118	地域と歴史	月5・6	山元 貴継
	119	地域と産業	木3・4	末田 智樹
	120	地域と情報	火9・10	渡部 展也
	121	地域とまちづくり	金7・8	大塚 俊幸
	122	歴史学特殊講義A	水1・2	三浦 陽一

分野	コード	科目名	曜日・時間	担当者
歴史地理	123	歴史学特殊講義B	水3・4	篠宮 雄二
	124	地理学特殊講義A	金5・6	大塚 俊幸
	125	地理学特殊講義C	木3・4	林 上
	126	経済学概論	月7・8	戸田 優男
	127	国際政治学	水1・2	羽後 静子
	128	国際法	月5・6	加々美康彦
	129	国際経済学	木1・2	戸田 優男
	130	開発経済学	月3・4	田中 高
	131	国際協力論	水1・2	青木 澄夫
	132	国際公共政策論	水5・6	原田太津男
	133	社会開発論	火9・10	野田 真里
	134	国際機構	月7・8	加々美康彦
	135	人間安全保障論	木5・6	野田 真里
	136	貿易論	木3・4	高 英求
	137	国際関係特論A	水3・4	羅 立新
	国際・異文化・宗教・言語	138	文化人類学	木1・2
139		中国語研究A	月5・6	于 小薇
140		中国経済論	水1・2	羅 立新
141		中国歴史研究	火5・6	小田 則子
142		地域言語C ※1	火3・4と金3・4	堀内 勝
143		中国言語文化研究A	月3・4	黄 強
144		中国社会研究特殊講義A	水5・6	舛山 誠一
145		東アジアを知るA	木1・2	ゾン ティンティン
146		ヨーロッパを知る	月1・2	水野 豊
147		北米を知るA	金3・4	河内 信幸
148		考古学	金1・2	中野 智章
149		音声学	金7・8	野田 恵剛
150		比較言語学	木5・6	野田 恵剛
151		国際地域言語A	金5・6	中山 紀子
152		地域研究特殊講義	水5・6	中山 紀子
153		社会心理学	火1・2	安藤 直樹
芸術	154	宗教人類学	火7・8	黄 強
	155	人間と環境	金1・2	澁谷 鎮明
	156	アジア・オセアニア地域研究	火3・4	財部 香枝
	157	芸術の世界	水5・6	千葉 成夫
	158	※旧「美術の思想と表現」	木3・4	
	159	西洋美術史	木1・2	千葉 成夫
	160	精神保健	水1・2	大河内 修
	161	障害児の発達と理解	水1・2	武藤 久枝
162	事例検討の方法	木7・8	武藤・日比野・濱島・稲垣	

※1 週に2コマ開講する講義です。  
1科目20,000円

※2 前半8コマの講義です。(日程はオープンカレッジガイドブックP29参照)  
1科目5,000円

※3 後半8コマの講義です。(日程はオープンカレッジガイドブックP29参照)  
1科目5,000円

★この科目一覧は、現時点での開講予定です。  
お申込までに変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 資料請求先 中部大学 エクステンションセンター

ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/>  
Eメール [ext@chubu.ac.jp](mailto:ext@chubu.ac.jp)  
トップページからエクステンションセンターへ

TEL (0568)51-4392(直通)  
FAX (0568)51-3166

詳しい講義内容は、授業計画一覧(シラバス)をご確認ください。  
シラバスは、図書館入口左手ラウンジにあります。  
2012.2.22～3.28まで

●講義時間は下記のように定められています。

1・2時限	9:30～11:00	3・4時限	11:15～12:45
5・6時限	13:35～15:05	7・8時限	15:20～16:50
9・10時限	17:05～18:35		

### ガイダンスにお越しください

初めて参加される方は、必ずガイダンスへご参加ください。  
ガイダンスは60分程度で終わります。

**3月2日(金) 9:30～**  
中部大学リサーチセンター2階 会議室

### 申込手続き

申込手続きは、ガイダンス当日からできます。  
下記の必要書類をご用意ください。

- 聴講料…1科目10,000円(1科目につき)
  - 登録料…5,000円(初めて聴講生になられる方のみ)
  - 申込書…大学で定めた用紙 ※申込関連資料の請求は下記まで。
  - その他…印鑑
- 写真2枚(ヨコ30mm×タテ40mm)  
最終学歴(高等学校以上)の卒業証明書  
※卒業証明書は卒業学校にお問合せください。卒業証書のコピーでも可。  
※聴講料につきましては後日振込用紙を送付します。

### 申込期間

3月2日(金)ガイダンス終了後～  
3月8日(木)15:00まで

※郵送可。締め切り日必着。  
※それぞれの授業には定員があります。  
定員を超えるお申し込みがあった場合は  
抽選となります。

### 開講式

3月28日(水)10:00～  
※詳細は聴講が決定した方へ別途  
ご案内いたします。

### トラネット説明会

4月3日(火)10:00～  
※詳細は聴講が決定した方へ別途  
ご案内いたします。

春日井キャンパス2号館4階  
〒487-8501  
愛知県春日井市松本町1200  
受付時間/9:00～17:00  
(土・日・祝日・長期休暇を除く)

### アクセス

JR中央線「神領駅」より  
スクールバス(1回200円)で約5分。  
また、駐車場登録(有料)のうえ  
車でのご通学もできます。